
Swallow's song,Falconine's tale

桜兎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Swallow's song, Falcon's tale

【Nコード】

N9735S

【作者名】

桜兎

【あらすじ】

基本的に”燕”と”隼”、その周りの人物のほのぼの？な学園（都市）生活です。たまーに能力使用の戦闘とかが入るかも知れませんが。

A P r e f a c e (前書き)

この作品は初めてつくった作品ですので、かなりアラなどがあると思われます。それでもよい、という方はご笑覧下さいませ。

A P r e f a c e

ファースト・コンタクト
第零章—A— 7/15, AM 6:29—

何時も、同じ夢をみる。

それは、小学校中学年くらいに見える少女が泣いている夢。

何故泣いているのか、と聞いても、首を横に振るだけで答えのない、そんな夢——

黒髪の青年—（彼の見かけはほぼ完全に大人のそれだが、顔にまだ少しあどけなさが残っている）は、何時もと同じように夢をみて、何時もと同じように目を覚まし、何時もと同じようにベットで頭を抱える。何時からこの夢を見るようになったのだろうか、最早彼は覚えていない。この朝の流れが最早自然に思えてしまうほどに、ずっとその夢を見続けている。

時計を見ると、まだ朝の6時30分になるかならないかと言う時間だ。やはりまだ少し早かったか、と心の中で思いつつも、早起きたら早起きしたでやることはあるのだから今のうちにしておきましょうか、と階下に降りる——その直前に、ふと思いついたかのように妹の部屋をノックし、

「そろそろ起きろー、朝練に遅れても知らんぞー？」

「うー、……………おはよーお兄ちゃん……………」

中から眠そうな声がして、部屋の中からスリッパが床を叩く音が聞こえ始めたことから一応妹は起きたらしいと考えて、彼も軽く伸びをしつつ階下に降りる。

台所に立ち、二人分の朝食を作り始めた彼の名は、あらみき荒三木 はやぶさ隼。彼の朝は、正に飛翔する直前のハヤブサのように、静かに始まった…

.....

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9735s/>

Swallow's song,Falconine's tale

2011年10月9日00時01分発行